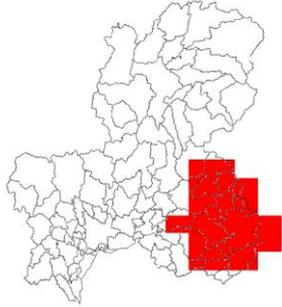


リョウノウアザミ	<i>Cirsium grandirosuliferum</i> Kadota	絶滅危惧Ⅱ類
		キク科
選定理由	生育地と個体数がかなり減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	茎は高さ60-120cm。根出葉は開花時にもあり、長楕円形あるいは披針形、長さ15-50cm、羽状に浅裂から中裂する。茎葉は小さくて少ない。頭花は上向きで、数個が総状につき、小花は筒状花のみで赤紫色。総苞は円柱状、長さ15mm前後。	
生態的特徴	日当たりのよい湿った草原や林縁に生育する。花期は9-10月。	 
分布状況	岐阜県と長野県に分布する。岐阜県では美濃地方の東部に見られる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘